

極秘機関

「ヤマ機関」と 登戸研究所

一日本陸軍の防諜とは ゾルゲ事件80年一

秘密デ語ッタ
秘密ハ漏レル

手柄話も
軍機に注意

防諜！日本精神

2022 **11/24** 木 >> 2023 **5/27** 土

【開館時間】10:00～16:00

【休館日】日曜～火曜、祝日、2022年12月25日(日)～2023年1月10日(火)、14日(土)

※ほか大学の事情による臨時休館日あり【入館料】無料

【展示開催場所】明治大学平和教育登戸研究所資料館およびオンライン

https://www.meiji.ac.jp/noborito/event/specialexhibitionlist_index.html

事前予約制

予約方法は当館HPを
ご覧いただくか、
お電話でお問い合わせ
ください

オンライン
開催は
こちらから



特記事項

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染状況により、前日までの事前予約制。学内関係者のみの開館または臨時休館となる場合がございます。ご来館前に当館HPを確認いただくか、当館へお問い合わせください。

明治大学平和教育登戸研究所資料館

The Defunct Imperial Japanese Army Noborito Laboratory Museum for Education in Peace, Meiji University

〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田 1-1-1 明治大学生田キャンパス内

TEL/FAX 044-934-7993 E-mail noborito@mics.meiji.ac.jp

明治大学平和教育登戸研究所資料館



f <https://www.facebook.com/people/明治大学平和教育登戸研究所資料館/100077822204861/>

📧 <https://www.meiji.ac.jp/noborito/>



https://twitter.com/meiji_noborito



https://www.instagram.com/meiji_noborito/

Web



Facebook



Twitter



Instagram



極秘機関 「ヤマ機関」と 登戸研究所

—日本陸軍の防諜とは ゾルゲ事件80年—

今年は、戦前における最も著名なスパイ事件とされるゾルゲ事件が公表されて80目にあたります。スパイ取締り(防諜)は、登戸研究所が担う秘密戦の4大項目(防諜・諜報・謀略・宣伝)の1つで、研究所では防諜のための、主に憲兵が使用する兵器・資材の研究・開発が行われていました。

今回の企画展では、まず、満州事変を契機に日本社会が国家主義に傾斜する中で、防諜の前段階として「異端分子」を「非国民」として排除していく姿を国際法学者・横田喜三郎への圧力の高まりを実物資料を通じて明らかにします。そして、防諜活動になった特高警察や憲兵の台頭と政府・軍によって展開された防諜キャンペーンについて押さえた上で、1937年に設置された極秘防諜機関「ヤマ機関」の実態に迫ります。

また、当時の日本における防諜は多分に「防共」(共産主義防止)の性格を持っていて、ソ連に対する警戒感が高まるなか、ソ連や国際共産主義運動につながる人物への摘発が、ゾルゲ事件となって現れる一方で、東条英機内閣以降、憲兵による反戦・反政府運動の組織的な弾圧へと繋がっていく過程を明らかにします。

ゾルゲ機関主要メンバー

(太田耐造関連資料205「国際共産党対日諜報機関檢舉申報」より、国立国会図書館所蔵)

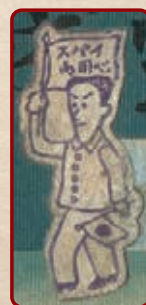


ゾルゲ事件が初めて公表された新聞紙面

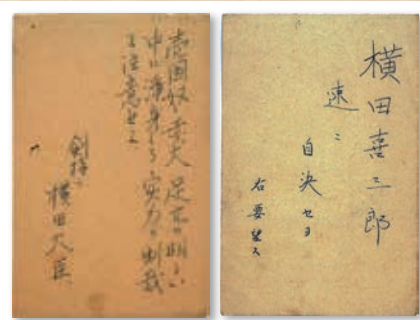
1942年5月17日付「東京朝日新聞」朝刊1面(朝日新聞社所蔵)



『写真週報』
第168号
防諜週間
特集号表紙
1941年5月14日
情報局発行
(当館所蔵)



「スパイ御用心」
シールが貼付られた
国民学校(小学校)
5年生用自習帳
1941年9月10日
第43版(当館所蔵)



横田喜三郎宛投書
「売国奴」「自決セヨ」といった
文言がならぶ(当館所蔵)

関連イベントのご案内

■ 講演会①

内 容: ゾルゲ事件を通じて見えてくる近衛体制の弱体化と東条体制の強化
開 催 日 時: 2022年12月3日(土) 14時~16時 ※開場13時半
会 場: 【対面式】明治大学生田キャンパス中央校舎6階メディアホール、
【オンライン】Zoomウェビナー
講 師: 山田朗(明治大学平和教育登戸研究所資料館館長、明治大学文学部教授)
定 員: 【対面式】140名、【オンライン】400名(いずれも申込先着順)
参 加 費: 無料
参加方法: 事前予約制。11月28日(月)までに希望する参加方法(対面式かオンライン)及び以下
項目を添え下記お問い合わせ先からQRコードからお申し込みください。
対面参加: ①参加希望者全員の氏名、②連絡先電話番号とメールアドレスを明記
事前予約者以外は会場内に入れませんので、必ず事前予約をしてください
オンライン参加: メールアドレスを明記

■ 講演会②

内 容: ゾルゲ事件とはどのような事件だったのか、最新の調査研究からゾルゲ事件を
研究第一人者に分析していただきます。
日 時: 2023年4~5月に開催予定。決まり次第当館HPもしくはSNSでお知らせします。

■ 企画展展示解説

内 容: 館長 山田朗が参加者と展示を巡りながら企画展の見どころを解説します
(所要時間約60分)
日 時: 2022年12月17日(土) 14時、2023年2月25日(土) 13時、3月11日(土) 13時
会 場: 資料館内
定 員: 10名(申込先着順)
申 込 方 法: 開催日2日前までに下記お問い合わせ先からQRコードより
①希望参加日②参加者全員の氏名③代表者連絡先を添えてお申し込みください

■ 関連イベント共通

※メール申込の場合、翌開館日以内に当館より申し込み確認メールを送信いたします。
当館からのメールが届かない場合、迷惑メールフォルダに振り分けられている可能性があります
ので、「naborito@mits.mieji.ac.jp」からのメールを受け取れるよう設定をお願いいたします。



アクセス

小田急線生田駅南口徒歩15分 /
向ヶ丘遊園駅北口より小田急バス「明治大学正門前」行終点下車

